

# ニュース

第217号

発行日 令和3年9月20日  
 発行者 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資  
 〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中431-20  
 電話 0299 (69) 2222  
 FAX 0299 (69) 2237  
 ホームページ <https://nakadaiikushinen.jp/>

## 今月の生活目標

### 【単元】

□ 日常の生活



### 【目標】

- 生活と仕事の関連を理解し、皆と協力しながら、自主的に動けるようにしましょう。
- 自分の役割りと責任を果たすことができるようになりましょう。

## コロナ・初孫・志村けん

サービス管理責任者 千葉 博

昨年の令和2年3月29日は、国民的コメディアンでお笑いタレントの志村けんさんが、新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになるという大変ショッキングな一日となりました。

このニュースは国民にとっても大きな衝撃と未知のウイルスに対しての更なる恐怖を知らしめる出来事でした。その当時は振り返れば、4月7日に東京など7都道府県に緊急事態宣言が発令され、4月16日には対象を全国に拡大した第一波の時期にあたります。

当時、当園におきましても、新型コロナウイルス感染症対策として、在宅からの通所利用及び、短期入所や日中一時支援の利用、利用者の帰省やご家族等の面会、通院以外の外出、慰問・ボランティアの受け入れなどについて自粛・ご協力をお願いしたり、マスクや消毒液などの備品の確保に悩まされていた混乱の時期として思い出されます。

そんな折、志村けんさんが永眠された令和2年3月29日に、長男夫婦に待望の男の子が誕生したという知

らせが入りました。私にとっては初孫ということになりますが、ただただ無事に生まれてくれたことに安堵し家族で喜びを分かち合いました。私は、ふと「志村けんの生まれ変わりがかな」と庶民的で気取らず国民の多くに親しまれた志村けんさんのような存在になつてもらいたいという夢を初孫に抱きました。

長男家族は、東京でのアパート生活ですが、最近になって、東京都内での一軒家を購入しようと物件選びに奔走、やつとのことで決めた物件がなんと東村山市。志村けんさんの出身地であり、あの「東村山音頭」のメロディーが脳裏に焼き付いています。そして、東村山市にとどまらず、学区も同じということで志村けんさんが卒業した学校に孫も通うことになるかもしれません。

たまたま偶然が重なったわけですが、志村けんさんをより身近に感じることができ、家族にとって志村けんという名は我が家のキーワードとして定着しています。

志村けんさんが新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになってから1年5か月近くになりました。

新型コロナウイルスを取り巻く環境は、感染が治まるどころか感染力の強いデルタ株が猛威を振るい、全国的に感染者数が爆発的に急増、医

療がひっ迫する等、第5波と呼ばれるような危機的状況に陥っています。現在、東京オリンピックが開催され、日本人選手の活躍もありメダルラッシュに沸いています。一方で自粛疲れや慣れから軽率な行動に出してしまう人も少なくないのも現状です。当園においても、利用者、職員のほぼ全員が2回目のワクチン接種を実施しましたが、気を緩めることなく今後も感染症対策を徹底し利用者の皆さんにとって安心・安全な生活が維持できるよう支援を継続していきたいと思えます。

コロナが終息するのはいつたいいつになるのでしょうか？



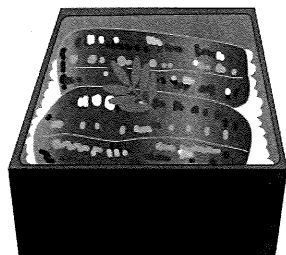
浴衣美人♡

# 「聴くちから」

生活支援員 林 遥香

私事なのですが、数か月前から実家を出て一人暮らしを始めました。慣れない家事に手を焼きながら、最近ようやく慣れてきました。実家のありがたさを日々噛みしめています。

そんなある日、実家で一緒に住んでいた祖母から電話がかかってきました。「生活は大丈夫？」「ご飯食べに来る？」「いつ来るの？」など。祖母のマシンガンをいつもの調子で受け流していると、祖母が一言。「話す人がいなくてさみしい。ハツとしました。家を出る前にはために帰って顔見に来るからと言っていたのに、実際一人暮らしを始めると中々帰ってあげられないなあと反省しました。それから時々電話をしたり帰ったりするようにしようと、毎回嬉しそうに最近の話はもろろんのこと、若い頃の働いていた時の話



や、子供の頃の話などいろんな話をしては、「話すだけで嬉しいのよ」と満足気です。

ふとその時、中台の高齢の利用者さんのことが頭をよぎりました。普段から話しはしているけれど、昔の話ってあまり聞いたことのないあの時が楽しいか聞いてみると、「仕事している時。色塗りとか」と答えてくれました。Mさんは「紙ちぎったりしてるでしょう？今は手が動かなくなってきたから、昔みたいに色々はできないけど。じつとしていられない性格だから」と。そんな話をしていると近くに居た別のMさんが、「私は踊るのが好き」と阿波踊り？を見せてくれました。そこから話に花が咲き、若い頃の話や仕事の話、家族の話などいろんな話をしてくれました。何度か聞いたことのある話もありましたが、みんなとても楽しそうに話すので私も思わず笑ってしまいました。ひまわりグループのOさんは、「暑くて外に出られないが、畑仕事がしたい。」と悲しそうに話していました。足が少しむくんでしまっていたので、マッサージをしながら「涼しくなったら、また外でお仕事がんばりましょうね」と話すと、「ありがとう」と笑顔を見せてくれました。

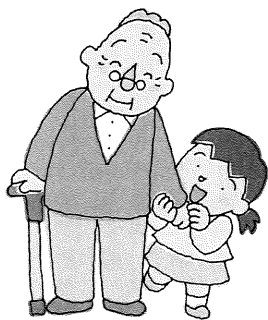
みんな年齢を重ねても、働くことに喜びや生きがいを感じているこ

とを実感しました。年齢と共に、思うようにできないことも増えたことで、もどかしさやモヤモヤも抱えていることも。

そんな時、すぐにしてあげられることは話を「聴く」ことだと感じました。身近にいるからこそできることで、だけど、一番大切な事だと思っています。支援をしていく中で、利用者さんから「ねえ、聴いて」と話したくなるようになりたいと思っています。



夕涼み会にて（美味しいパイを食べました）



# グループホームだより

## 「365通の手紙」

生活支援員 高野 暁代

今こうして書いている間にも、又、一通の手紙が届きました。グループホーム担当になり、2年が過ぎ今までに頂いた手紙は何百通にもなります。グループホーム担当になってくれてありがとう、色々と教えてくれてありがとう、そして時には愛の告白も・・・笑。

担当になれて良かったと思える瞬間です。他にも注意されたことを中々素直に謝れず、手紙を通じて今の想いを教えてくれる方、嫌なことがあると怒りを訴えてくる方、自分の気持ちをそのまま素直に伝えてくれる方・・・全てが想像するキレイな便箋に書かれていたわけではありません。広告の裏だったり、包装紙だったり、時にはお気に入りのメモ帳だったり様々です。今の時代、ボタンを押せば下手な字でもパソコンが綺麗な字にしてくれますが、手書きで書いてこそ内容がどんな事であれ、真のいい手紙だと感じさせられます。明日も一日笑顔で過ごして欲しいという願いを込めてSMILEマークをつけ、今日も返事を書いていきます。

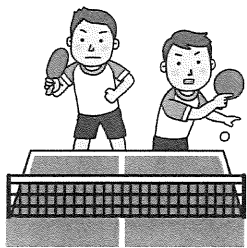
# グループだより

## ★ひまわりグループ 『オリンピックに沸く』

東京オリンピックピックが始まりました。コロナ禍の中の開催とあって世論は賛否両論ありますが、当施設の利用者さんたちは全員一致の大賛成派のようです。緒形さん、大谷さん、細田さんは毎日テレビの前で応援の日々です。日本選手が登場すると、応援にも熱が入り、勝敗に一喜一憂しています。

一方、普段からスポーツ観戦が好きな横山さんは、何故かオリンピック観戦には消極的で、あまりテレビの前に来ようとしません。どうしたのかと思っていましたら、横山さんは自分の居室でラジオ観戦していました(笑)。他の皆さんとは違う競技を応援したかったようです。今年もまた暑い夏がやってきましたが、中台の応援の熱もボルテージマックスです。利用者の皆さんの応援がオリンピックに届きますように。

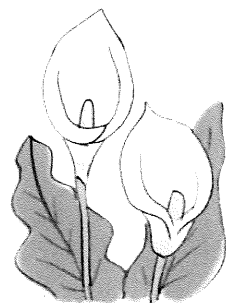
〈千代田〉



## ★すみれグループ

### 『ありがとございりました。』

七夕の夜に毎年恒例の映画鑑賞会を行いました。流行の映画を観て楽しい夜を過ごしたその夜、山中さんの体調が急変し、深夜に病院に運ばれそのまま入院、翌日、静かに息を引き取られました。あまりの急な出来事に仲間や我々職員も受け入れられず、ふと、その廊下の陰から山中さんが顔を出してくるのではないかと思ってしまうほどでした。とても心優しい方でいつも人の事を気遣い、情に厚く涙もろい一面も。その反面、とても恥ずかしがり屋でもありました。七夕の夜はロマンチックすぎて遠慮したのかもしれないですね。今頃はご両親やお友達と昔話に花を咲かせ、大好きだった「高校3年生」を熱唱されているかもしれません。私が入職した当時、山中さんの優しさに何度も励まされていただきました。沢山の思い出がありありがとうございます。心よりご冥福をお祈りいたします。



〈海老澤〉

## ★なでしこグループ

### 『素敵なピアノ♪』

嚙下機能低下を予防する為、数名の利用者さんは毎食前に口や舌を動かしてリハビリ体操をしています。特に昼食前に大ホールで行う体操には沢山の仲間が集まってきて、とても賑やかな雰囲気になります。なでしこグループの中川さんは嚙下体操には参加していませんが、皆が集まり始めるとピアノの前に座り自分の出番を待ちます。その体操の一つにキラキラ星の音階に合わせ「ぱたかぱたか♪」と歌う体操があるのですが、その順番になるとその歌に合わせて、自らピアノの伴奏をしてくれます。弾き始めた頃は一つずつ音がずれていたのですが、正しい音階を教えながら一緒に弾くと翌日から完璧なキラキラ星の伴奏が聴こえてきました。リハビリ体操に華を添えてくれていた中川さん。いつも弾いてくれてありがとうございます!これからも宜しく願います♡ 〈長岡〉

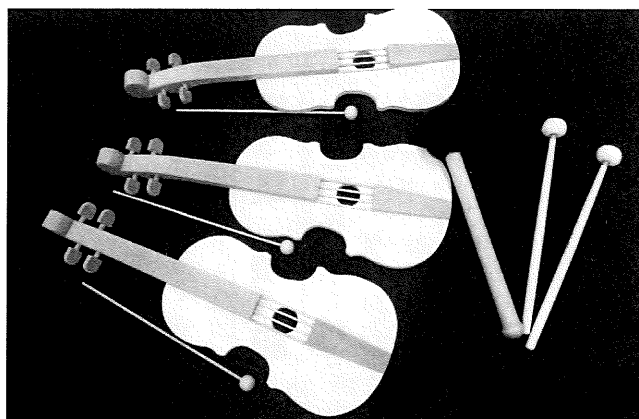


## ★あざみグループ

### 『パズル』

休日や余暇の時間になると、それぞれ興味のあることで余暇を過ごしています。平間さんはパズルをするのが得意で、適当にピースをはめるのではなく、パズル全体を見ながらピースを合わせていきます。パズルに取り組んでいる最中はとても集中しており、間違うことなく進んでいきます。完成すると職員の所に持ってきて誇らしげな表情を見せてくれます。片付けも決まった袋にきっちり入れてくれ、几帳面な平間さんらしい余暇の過ごし方です。

〈井関〉



茨城ミュージック・ケア研究会様より寄贈

# ふれあい班だより

生活支援員 豊田 美聡

ふれあい班は、男性16名、女性20名合計36名の利用者さんが不用紙処理や色塗り等の創作活動に取り組んでいます。

個々には、得意分野、不得意分野があるので、利用者さんの得意分野が生かせるような活動ができるように日々模索しています。色塗りでは、福栄さんと矢代さんが特に大活躍してくれ、カラフルにかわいらしく仕上げてください。時には自分で絵を描き加えて個性的に仕上げてください。不用紙処理では、野口さんが大活躍。手を止めることなく時間いっぱい集中して行ってくれています。手を止めないので、あつという間に終わってしまいます。竹添さんは、握力がすごいので数枚重なっていてもなんのその。強い力で破いてしまいます。皆が破いた新聞を更に細かくしてくれるのが、芳野さん、吉成さん「まだまだ細かくできるよ」と皆に教えてくれます。破いた不用紙は、宮淵さんや橋爪さんが、不用紙を袋に入れやすいように大きく広げ袋を持っていくと、二人のおかげで片付けもスイスイです。パズルでは、島村さん、平間さん、石田さんが取り組んでいます。平間さんは、既に全てのピースがどこに來るのが大体わかっているで仕上げるのがとても早いです。お友達が苦戦している時は、平間さんに助けを求めるとすぐに手伝ってくれる優しい方です。ふれあい班の皆さんは、それぞれに得意な事があります。これからも新たな一面を発見し、楽しい時間を一緒に過ごしていきたいと思います。

## 職員紹介

名前：内田 亜希子

《ひまわり》

中台育心園には以前勤めていました。7月から再びお世話になることになりました。懐かしさと新鮮な気持ちで一杯です。よろしくお願ひします。



名前：北村 初恵

《ひまわり》

以前、中台育心園で勤務していましたが、縁あって再び働かせて頂くことになりました。これから皆さんと仲良く生活していきたいと思っております。宜しくお願い致します。



名前：星谷 晴美

趣味：クラフトバンドでカゴバック作り

《ひまわり》

わからない事ばかりで戸惑う毎日ですが、みなさんに教えて頂きながら早く仕事を覚えて頑張っています。



## 跡 跡 跡

〔7・8月〕

【寄付】

▼橋爪八重子様 ▼茨城ミュージック・ケア研究会 会長 千葉浩子様

▼池田洋様 ▼沼田精一様

【来園者】

▼小原学様 (打ち合わせ) ▼横田裕樹様 (会計監査) ▼永光パートナーズ 渡邊様 坂寄様 (会計指導) ▼(株) 横松建築設計事務所 横松様 (打ち合わせ) ▼上遠野道子様 上遠野郁代様 (見学) ▼印南朱里様 印南智恵子様 久保綾様 中山めぐみ様 (見学) ▼吉崎勇三様 吉崎美代子様 (見学) ▼有馬明日香様 山

口真由様 (実習オリエンテーション) ▼鈴木武則様 鹿島更生園 市村様 (契約) ▼水戸市役所 曾我様 (認定調査)

【日中一時】

▼梶田浩史さん 飯野泉さん

【7・8月誕生者】

▼藤岡美智子さん ▼竹添幸也さん

▼久保田雅子さん ▼星野敏行さん

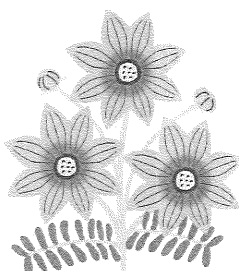
▼大谷光明さん ▼沼田賢治さん

▼野原みち代さん ▼川尻勝久さん

▼島村龍馬さん ▼野口円さん

▼飯塚秀男さん ▼細田正弘さん

▼小沼好静さん



## 編集後記

重苦しい雰囲気の中で始まった東京オリンピック。賛否はありましたが、やはりスポーツの力は希望を与えてくれます。特に印象深いのが、新種目での若手選手の大活躍！はじけるようなキラキラとした笑顔、空を飛ぶように舞う姿は圧巻でした。今後の活躍が楽しみです。選手の皆様、お疲れ様でした。(エビサワ)